

フェリス学院大学 キリスト教研究所主催講演会

戦後日韓キリスト教関係の変化

—1973年東京発韓国キリスト者宣言を中心に—

緑園キャンパス ラーニングコモンズ
(図書館2階・イベントプラットフォーム)

対象者

本学関係者・一般の方
(どなたでもご参加いただけます)

形式

対面・オンライン同時開催

※一般の方はオンラインでのみご参加いただけます

予約

事前申込制

締切10.21(月)



右記QRコードからお申し込みください。
(<https://forms.gle/82oTMYKDnG1e2uHd7>)

2024
10.24 木
14:30▶▶15:30 開場14:00

講演者プロフィール

徐 正敏 氏

韓国生まれ。延世大学と大学院修了、同志社大学より博士学位取得。延世大学と大学院教授歴任。

現在明治学院大学教授。アジア宗教史専門。

主要著書(和文)に『日韓キリスト教関係史研究』(日本キリスト教団出版局、2009)、『日韓キリスト教関係史論選』

(かんよう出版、2013)、『日韓関係論草稿』(朝日新聞出版、2020)、『東京からの通信』(かんよう出版、2021)など。

講演者より

本講演はまず日韓近現代史の中、キリスト教の関係を概説する。それから戦前と戦後においてその変化に注目する。特に1967年「日本キリスト教団」の戦争責任告白以後、日韓キリスト教の具体的な変化を論議する。続いて1960-80年代韓国の軍事独裁政権に対する韓国キリスト教界の民主化運動を積極的に支援した日本キリスト教の活動を説明しながらその過程での一つの結実である「1973年東京発韓国キリスト者宣言」の作成と内容まで分析する。



FERRIS UNIVERSITY

キリスト教研究所

TEL 045-812-8211 大学総務課